

あいち朝日遺跡ミュージアム年報

3

— 2022 年度 —

あいち朝日遺跡ミュージアム

はじめに

愛知県清須市朝日地内には、弥生時代の遺跡として、戦前から「貝殻山貝塚」の存在が知られており、1971(昭和46)年に国の史跡にも指定されたことから、県では、1975(昭和50)年に、史跡として整備を行うとともに、「愛知県清洲貝殻山貝塚資料館」を開館しました。

その後、道路建設等に伴う大規模な発掘調査により、貝殻山貝塚を含む周辺一帯が「朝日遺跡」として、全国屈指の規模を持つ弥生時代の集落遺跡であることが明らかとなったことから、県では、発掘調査による出土品の保存と活用を図るため、1994(平成6)年以降、新たな施設の建設に向けて検討に着手しました。

2012(平成24)年に、出土品の一部が国の重要文化財(考古資料)に指定されたことを期に、2015(平成27)年度には「愛知県清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想」を策定し、2020(令和2)年には、史跡隣接地を含め、園地を再整備し、出土品を収蔵するとともに、朝日遺跡と弥生時代の調査研究、展示・教育・普及等の事業を行う拠点施設として、あいち朝日遺跡ミュージアムが開館しました。

2015(平成27)年度に策定した基本構想では、ミュージアムのコンセプトを「歴史に親しみ、未来を育む朝日遺跡・弥生体験ミュージアム」としています。今回刊行する年報は、施設の概要とともに、この考え方に基づいて、2022(令和4)年度に実施した展示事業等の概要についてまとめたものです。

2023(令和5)年7月

あいち朝日遺跡ミュージアム

目 次

I	朝日遺跡と指定文化財	1
1	朝日遺跡の概要	1
2	史跡貝殻山貝塚	1
3	重要文化財朝日遺跡出土品	1
II	施設の概要	3
III	展示事業等	6
1	常設展	6
2	企画展	7
3	その他	10
IV	普及事業	11
1	講演会等	11
2	文化財活用イベント	14
3	古代体験プログラム	16
4	ボランティアの養成と活動	17
5	弥生ムラづくりプロジェクト	18
6	学校教育との連携	19
7	関連施設等との連携	20
V	保存・活用事業	21
1	資料の保存管理・提供等	21
2	刊行物	23
VI	参考資料	24
1	組織と体制	24
2	県と指定管理者との役割分担	24
3	運営協議会	26
4	史跡貝殻山貝塚の維持・管理	26
5	入館者数	27
付 録	関連条例・規則等	28

I 朝日遺跡と指定文化財

1 朝日遺跡の概要

朝日遺跡は、清須市と名古屋市西区にまたがる弥生時代の大規模な環濠集落であり、その面積は約 80 万㎡に及ぶ。この地に集落が形成されたのは弥生時代の前期で、当初は小規模であったものが、中期には全国でも有数の大規模集落へと発展している。また、最盛期には、人口も 1,000 人に達したと考えられており、多彩な出土品から遠隔地との交流も盛んに行われていたことがうかがわれる。

これまでに、道路建設に伴う発掘調査等により、土器、石器、木製品、金属製品など、豊富な出土品に加え、埋納された銅鐸や玉作りの工房跡など、当時の生活を物語る数多くの貴重な発見が相次いだ。また、環濠と逆茂木、乱杭などを組み合わせた、強固な防御施設が出土したことで、戦乱の弥生時代をイメージさせる遺跡としても注目されることになった。

遺跡のうち、前期の集落の一部は「貝殻山貝塚」として国の史跡に指定されており、出土品の一部も「朝日遺跡出土品」として国の重要文化財に指定されている。

2 史跡貝殻山貝塚(国指定基準 史跡の部 第1(貝塚))

○ 指 定 昭和 46 年 12 月 15 日 (指定面積 10,169.40 ㎡)

○ 指定理由 (要旨)

この遺跡は、古くから前期弥生文化の東漸地域の東縁に位置するものとして著名であった。戦前戦後の数次にわたる発掘調査によると、貝塚は径 15 メートルほどの規模のものが 3 か所あり、カキ、ハマグリと淡水性のシジミからなり、主として、前期と中期の遺物をともなうが、周辺一帯には、前期から後期におよぶ包含層が広がっていることが判明している。

出土遺物は前期から後期に及ぶが、とくにいわゆる遠賀川系土器と縄文式土器の伝統を引く条痕文土器の共存する状況は、前期弥生文化と在来文化の関係を示す重要な資料であり、骨鈹、骨鏃など比較的多い骨製品にもみるべきものがある。弥生文化が東海地方に定着していった実相を明らかにする遺跡として重要である。

3 重要文化財朝日遺跡出土品(考古資料の部)

○ 指 定 平成 24 年 9 月 6 日 (出土品一括 (2,028 点))

○ 指定理由 (要旨)

土器・土製品には、装飾性に富む赤彩土器や円窓付土器など東海地方に特徴的な資料が数多く含まれる。木器・木製品は鋏・鋤・斧柄など農工具のほか、容器、武器・武具、祭祀具など多彩である。石器・石製品は打製石鏃・尖頭器などの武器、磨製石斧をはじめとする生活用具、勾玉・管玉などの装身具があり、翡翠・緑色凝灰岩を用いた玉作り関連資料も含まれる。金属製品には銅鐸、銅鏃、巴形銅器、筒形銅製品、銅鏡・鉄斧など多彩な製品がある。銅鐸は集落南端に埋納された状態で出土し、青銅器埋納と集落との関係が把握できる重要な出土例である。骨角牙貝製品は、やす・鈹・釣針などの狩猟・漁労具、簪、垂飾など精緻な加工を施した装飾品、縫針、紡錘車などの紡織具があり、未製品を含む製作関連資料も充実している。また、卜骨などの祭祀具も含まれる。

以上、本件は東海地方を代表する弥生時代の大規模集落の出土品一括として、弥生時代の多様な生業、生産・流通の様相、精神生活を復元するうえで極めて重要な資料である。

重要文化財指定品

(2,028点の内訳)

土器・土製品・・・727点

木器・木製品・・・253点

石器・石製品・・・650点

ガラス小玉・・・121点

金属製品・・・37点

骨角牙貝製品・・・240点



赤彩土器

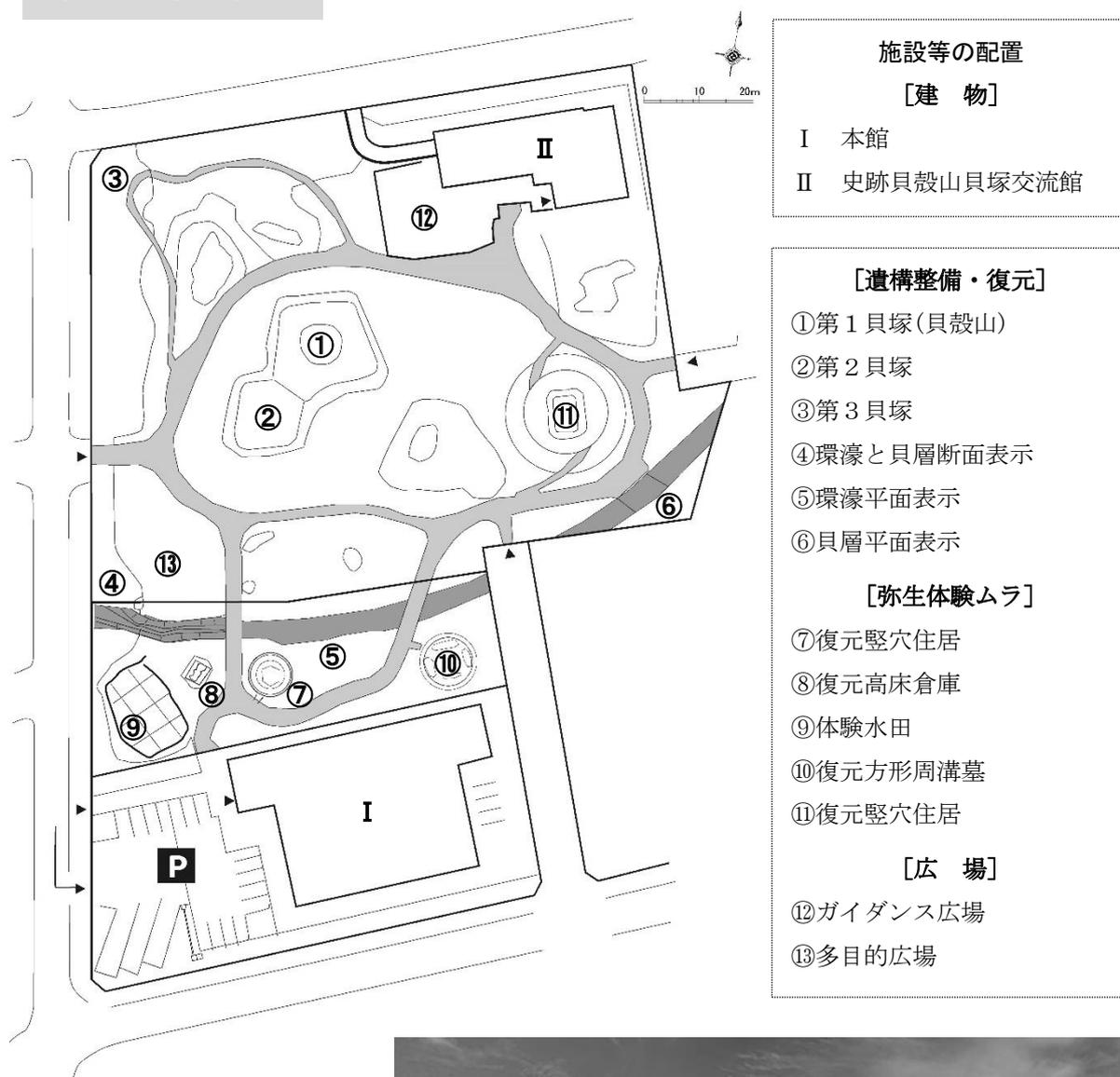
朝日遺跡の調査とミュージアム開館までの歩み

年	発掘調査等	史跡整備とミュージアム建設への歩み
1929(S4)年	津島高等女学校教諭の加藤務が貝殻山貝塚地点を調査	
1948(S23)年	山田吉昭・紅村弘が貝殻山貝塚地点を調査	
1950(S25)年	愛知学芸大学(現愛知教育大学)が貝殻山貝塚地点を調査	
1968(S43)年		貝殻山貝塚と検見塚が愛知県指定史跡となる(11月4日)
1971(S46)年	愛知県・清洲町教育委員会が貝殻山地点を中心に範囲確認調査を実施	貝殻山貝塚を含む10,169.40㎡が国の史跡に指定される(12月15日)
1972(S47)年	名古屋環状2号線の建設に伴う発掘調査開始	
1975(S50)年		愛知県清洲貝殻山貝塚資料館開館(4月)
1985(S60)～ 1989(H1)年	玉作り工房(1985年)、逆茂木と乱杭・ヤナ・大型方形周溝墓(1986年)、埋納銅鐸(1989年)等、重要な発見が相次ぐ	
1994(H6)年		愛知県清洲貝殻山貝塚資料館整備検討委員会開催
1995(H7)～ 1996(H8)年	貝殻山貝塚資料館の拡充整備事業のためミュージアム用地を発掘調査 弥生時代前期の環濠を発見	
1998(H10)～ 2007(H19)年	近畿自動車道名古屋関線清洲JCT他に伴う発掘調査	
2012(H24)年		朝日遺跡出土品(2028点)が国の重要文化財に指定される(9月6日)
2015(H27)年		愛知県清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想策定 史跡貝殻山貝塚保存管理計画策定
2016(H28)年		新施設基本設計
2017(H29)年	史跡整備のため、貝殻山貝塚指定地内を発掘調査。弥生時代前期の環濠を発見	新施設・史跡整備実施設計
2018(H30)年		新施設展示制作(9月～) 新施設本体工事(10月～)
2019(R1)年		史跡整備工事(1月～) 旧資料館改修工事(9月～)
2020(R2)年		史跡貝殻山貝塚の再整備竣工、あいち朝日遺跡ミュージアム開館(11月22日)

II 施設の概要

- 所在地 清須市朝日貝塚1番地
- 敷地面積 15,716 m² (うち国指定史跡貝殻山貝塚 10,169.4) m²
- 施設等
 - ・本館 RC造2階建、延床面積 1,953.77 m²
 - ・史跡貝殻山貝塚交流館(旧資料館を改修) RC造平屋建、延床面積 479.79 m²
 - ・遺構整備・復元(第1～第3貝塚、環濠と貝層断面表示・環濠平面表示・貝層平面表示)
 - ・弥生体験ムラ(竪穴住居2棟・高床倉庫1棟・方形周溝墓・体験水田など)

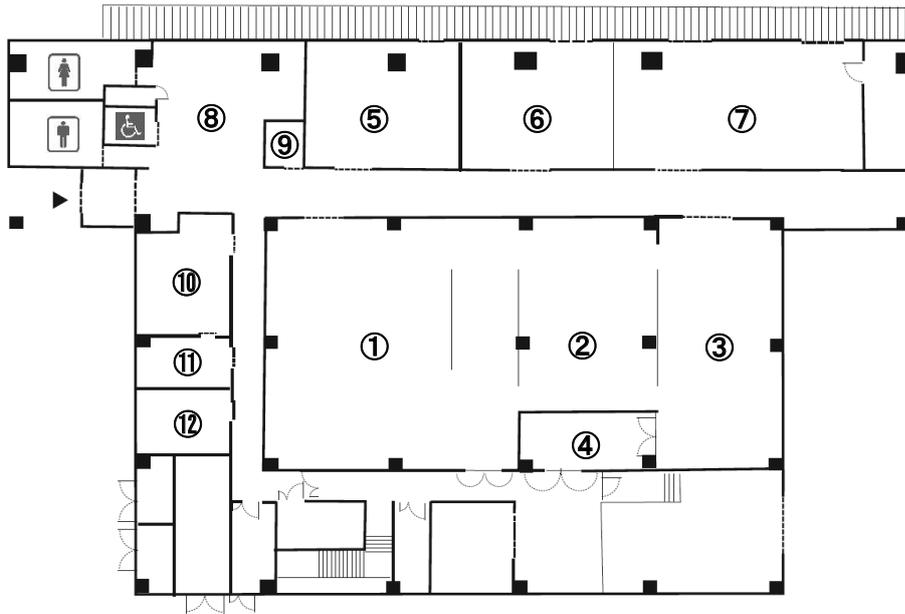
敷地内施設位置図



本館全景
(北から)



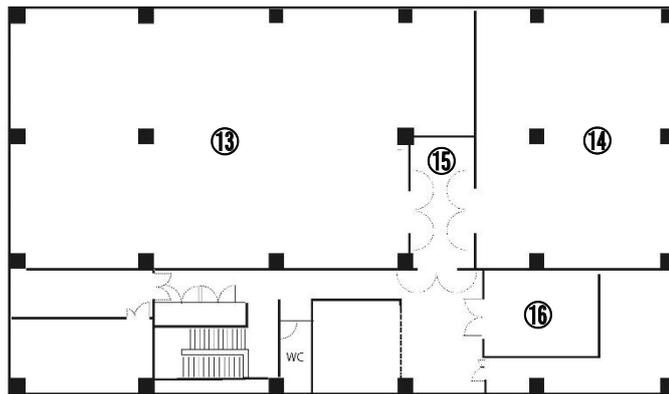
施設平面図



本館 1階

- ①基本展示室 1
- ②基本展示室 2
- ③企画展示室
- ④展示準備室
- ⑤キッズ考古ラボ
- ⑥体験学習室
- ⑦研修室
- ⑧休憩スペース
- ⑨授乳室
- ⑩事務室
- ⑪応接室
- ⑫会議室

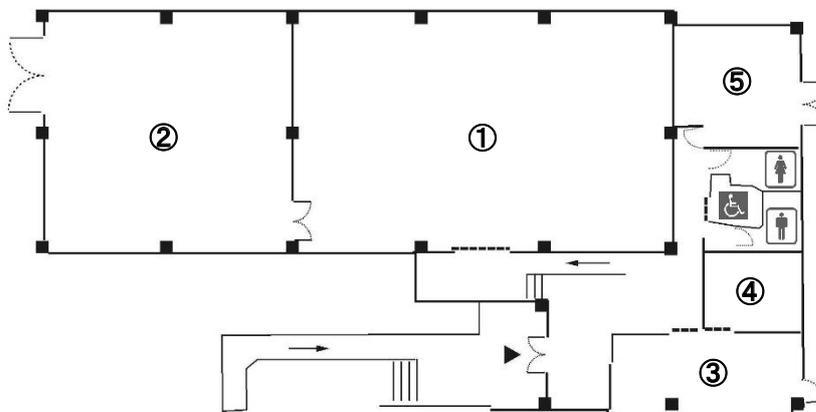
本館 1階



本館 2階

- ⑬収蔵庫
- ⑭特別収蔵庫
- ⑮収蔵庫前室
- ⑯保存整理室

本館 2階



史跡貝殻山貝塚交流館

- ①ガイドンス室
- ②収蔵庫
- ③管理室
- ④会議室兼研修室
- ⑤体験学習器具庫

史跡貝殻山貝塚交流館

用途別面積一覧

区 分		面積(m ²)	
敷地全体		15,716	
史跡貝殻山貝塚指定地		10,169	
駐 車 場	一般用(大型3台・普通15台)	741	882
	業務用(5台)	141	

本 館

階	区分	室 名	面積(m ²)		
1	展示	① 基本展示室 1	195	456	
		② 基本展示室 2	83		
		③ 企画展示室	97		
		④ 展示準備室	22		
		⑤ キッズ考古ラボ	59		
	普及	⑥ 体験学習室	59	156	
		⑦ 研修室	97		
	共用	⑧ 休憩スペース(カフェ)	55	370	
		⑨ 授乳室	4		
		廊下・WC等	311		
	管理	⑩ 事務室	34	182	
		⑪ 応接室	15		
⑫ 会議室		19			
倉庫・荷物用EV等		114			
機械		ブローワー・ポンプ室等	51		
計			1,215		
2	収 蔵	⑬ 収蔵庫	322	496	
		⑭ 特別収蔵庫	149		
		⑮ 収蔵庫前室	25		
	共用		廊下・WC等	98	
	管理	⑯ 保存整理室	29	51	
		荷物用EV等	22		
機械		機械室	93		
計			738		
本館計			1,953		



本館⑤キッズ考古ラボ



本館⑥体験学習室



本館⑦研修室



本館⑧休憩スペース

史跡貝殻山貝塚交流館

区分	室 名	面積(m ²)	
展 示	① ガイダンス室	191	
収 蔵	② 収蔵庫	126	
共 用	廊下・WC等	82	
管 理	③ 管理室	31	81
	④ 会議室兼研修室	17	
	⑤ 体験学習器具庫	33	
史跡貝殻山貝塚交流館計		480	



交流館①ガイダンス室

Ⅲ 展示事業等

1 常設展(本館基本展示室1・2)

朝日遺跡についての基本的な情報を提供するとともに、重要文化財指定品などの出土品を展示。

(1) 基本展示室1(朝日遺跡の姿と土器の移り変わり)

- ① 朝日遺跡発掘マップ
これまでに発掘調査が実施された地点と主な出土遺構を地図上に表示。
- ② クロスロードビジョン
弥生時代の朝日ムラの人々の生活を円形スクリーンで約4分の映像で紹介。
- ③ 朝日遺跡ロケーションジオラマ
集落の最盛期である紀元前3～紀元前2世紀頃を中心に、集落とその周辺での人々の活動の様子を再現。
- ④ 朝日遺跡クロニクル
中国、朝鮮半島の歴史と弥生時代の日本と朝日遺跡の集落の変遷をパネルで紹介。
- ⑤ 弥生土器クロニクル
重要文化財に指定された朝日遺跡出土品のうち、代表的な土器を、前期から後期まで年代を追って展示。

(2) 基本展示室2(重要文化財朝日遺跡出土品)

- ① 道具の造形
農耕の道具、容器類、狩猟具、武器、漁労具、紡織具などと、木材の加工に用いられた大小の磨製石斧類等を展示。
- ② 装飾の造形
ヒスイ製の勾玉やその原石、加工用具、ガラス小玉などとともに、骨・角・牙製の髪飾り、垂飾、貝輪等の装身具を展示。
- ③ 祈りの造形
鳥形の土製品、木製品、木偶、絵画記号土器、武器形木製品、儀杖、卜骨等祈りや儀礼に係る出土品を展示。
- ④ 金属の造形
銅鐸、銅鏃、巴形銅器、筒形銅製品、銅鏡、袋状鉄斧のほか、銅鐸鋳型(レプリカ)、銅滴など青銅器の鋳造に係る出土品を展示。



基本展示室1



基本展示室2

2 企画展(本館企画展示室)

2022(令和4)年度は、企画展4回、ミニ展示1回を開催するとともに、期間中には有識者による講演会等を催した。

(1) 企画展「一色青海遺跡－100年の弥生ムラ－」

[期間] 2022/4/29(金)～6/26(日) [開館59日]

弥生時代中期後葉のおよそ100年間営まれた稲沢市一色青海遺跡。大型掘立柱建物、赤彩で描かれたシカの絵画など、県埋蔵文化財センターの発掘調査をもとに紹介した。

[主な展示品]

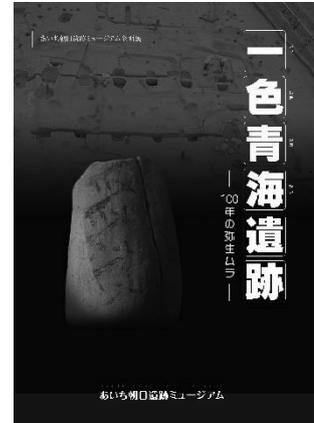
- ・シカが描かれた筒形土製品 一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)
- ・台付細頸壺 一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)
- ・勾玉と管玉 一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)

[関連講演等]

- ・講演会
「一色青海遺跡を考える」深澤芳樹(元奈良文化財研究所副所長)
- ・ヒストリーカフェ
「石包丁の使い方」原田 幹(当館学芸員)

[入場者数]

区分	一般	高校・大学	中学生以下	計(人)
有料	2,347	40	—	2,387
無料	655	1	1,377	2,033
計	3,002	41	1,377	4,420



パンフレット



勾玉と管玉

(2) 企画展「弥生人といきもの2022 シカをねらえ！」

[期間] 2022/7/23(土)～9/19(月・祝) [開館59日]

弥生時代に関係するいきものを取り上げ、遺跡からの出土の仕方、人との関係を表す遺構、遺物を展示。2022年度は「シカ」を取り上げ、狩りの様子、骨角を用いた道具、シカにまつわる儀礼を紹介した。

[主な展示品]

- ・絵画土器(矢が刺さったシカ) 清水風遺跡(田原本町教育委員会蔵)
- ・石鏃が刺さったシカの骨 朝日遺跡(重要文化財、当館蔵)
- ・シカ角製の銚 朝日遺跡(重要文化財、当館蔵)

[関連講演等]

- ・講演会
「朝日遺跡とシカ」山崎 健(奈良文化財研究所環境考古学研究室長)
- ・ヒストリーカフェ
「シカをめぐるお話」田中恵美(当館学芸員)



パンフレット

[入場者数]

区分	一般	高校・大学	中学生以下	計(人)
有料	1,729	65	—	1,794
無料	468	16	1,141	1,625
計	2,197	81	1,141	3,419



石鏃の刺さったシカの椎骨

(3) ミニ展示「青谷弥生人がやって来た！」

[期間] 2022/ 9/27(火)～10/16(日) [開館 18 日]

とっとり弥生の王国プロモーション推進事業鳥取県主催事業「青谷弥生人」ミュージアムキャラバン。青谷上寺地遺跡で発見された人骨をもとに制作された復顔像や人骨(レプリカ)や土器などを展示。「青谷弥生人」の復顔像は、東海地方では初公開となった。

[関連講演等]

・講座

「日本海を望む弥生の村と人々」濱田竜彦(鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課課長補佐)



「青谷弥生人」の復顔像

[入場者数]

区分	一般	高校・大学	中学生以下	計(人)
有料	845	12	—	857
無料	221	0	400	621
計	1,066	12	400	1,478

(4) 企画展「北陸の弥生文化—八日市地方遺跡と東海—」

[期間] 2022/10/22(土)～12/18(日) [開館 58 日]

北陸地方を代表する拠点集落八日市地方遺跡。東海地方との関係を中心にその出土品を展示。

[主な展示品]

- ・人面付土器 八日市地方遺跡(重要文化財、小松市埋蔵文化財センター蔵)
- ・土偶 八日市地方遺跡(重要文化財、小松市埋蔵文化財センター蔵)
- ・柄付鉄製ヤリガンナ 八日市地方遺跡(石川県埋蔵文化財センター蔵)

[関連講演等]

・講演会

「日本海側における東西弥生文化の結節点—八日市地方遺跡—」下濱貴子(小松市埋蔵文化財センター所長)

・ヒストリーカフェ

「弥生時代、北陸と東海のイイ関係」原田 幹(当館学芸員)



パンフレット

[入場者数]

区分	一般	高校・大学	中学生以下	計(人)
有料	1,713	28	—	1,741
無料	579	265	877	1,721
計	2,292	293	877	3,462

(5) 企画展「あいちの発掘調査 2022」

[期間] 2023/1/21(土)～3/12(日) [開館 51 日]

県内各地の発掘調査による新たな出土品や調査成果を紹介し、近年の発掘調査の動向と最新の考古情報を発信。

[主な展示品]

- ・棘葉形杏葉 馬越長火塚古墳(重要文化財、豊橋市美術博物館蔵)
- ・弥生土器 台付壺 岡島遺跡(西尾市教育委員会蔵)
- ・須恵器 円面硯 下田南遺跡(岩倉市教育委員会蔵)

[関連講演等]

- ・ミニシンポジウム(清須市教育委員会共催事業)

「尾張と東三河の首長墓～断夫山古墳と馬越長火塚古墳群の最新発掘調査成果から見えてくるもの～」広瀬和雄(国立歴史民俗博物館名誉教授)、岩原 剛(豊橋市文化財センター所長)、早野浩二(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)

- ・成果報告会

「発掘調査最新成果報告会Ⅰ 三河の遺跡」 社本有弥(愛知県埋蔵文化財センター調査研究主事)、鈴木とよ江(西尾市教育委員会文化財課元学芸員)

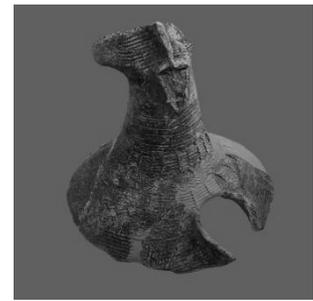
「発掘調査最新成果報告会Ⅱ 尾張の遺跡」 平松久和(岩倉市教育こども未来部生涯学習課文化財指導員)、島軒 満(株式会社アコード調査部調査技師)

- ・ヒストリーカフェ

「いまさら聞けない遺跡の話」 梅本博志(当館学芸員)

[入場者数]

区分	一般	高校・大学	中学生以下	計(人)
有料	1,497	35	—	1,532
無料	631	6	708	1,345
計	2,128	41	708	2,877



人面付土器



パンフレット



棘葉形杏葉(金銅装馬具)



弥生土器 台付壺

3 その他

(1) 史跡貝殻山貝塚交流館ガイダンス室

史跡貝殻山貝塚のガイダンス施設として、史跡指定の契機ともなった、第三貝塚出土の屈葬人骨2体をはじめとする、貝殻山貝塚出土品を中心に展示。

また、遠賀川系土器と条痕文系土器など、この地方の弥生時代前期の土器の成り立ちを示す資料、史跡整備に際して実施された前期環濠の発掘調査等の出土品等も展示。

このほか、体験水田で収穫した「赤米」、土器づくりで再現した「円窓付土器」など、弥生ムラづくりプロジェクトの成果を公開。

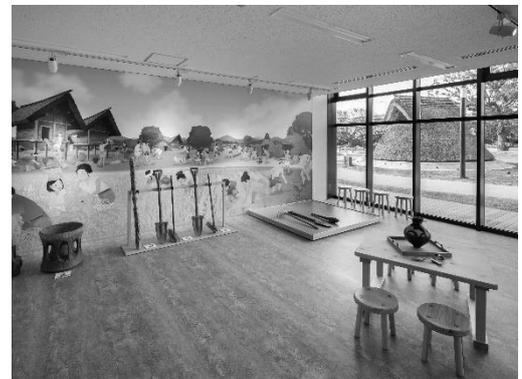


交流館ガイダンス室の展示

(2) キッズ考古ラボ

弥生時代のムラの風景や、地層の断面を描写した壁画を背景に、復元した銅鐸や鋤、鍬等の農具類、勾玉などのアクセサリー、石器やその材料となった原石などを展示するとともに、学習用図書等を配架。

貫頭衣を着て、復元した道具類を手にしたり、土器の破片を組み立てるパズル等、弥生時代の生活を体感できる子ども向けの体験スペースとして開設。ミュージアムのスタッフやガイドボランティアが常駐して、解説を行っている。



キッズ考古ラボ

(3) 図書コーナー

ア 本館図書コーナー

県内外の博物館等が刊行した展示図録類を中心に、歴史、考古、建造物、郷土史関係の一般図書を配架。また専用書架4基には、それぞれ、①新刊図書、②朝日遺跡と清須&名古屋の歴史、③ミュージアム刊行図書、及び④定期刊行図書の最新刊等を配架。



本館図書コーナー

イ 交流館図書コーナー

県内の自治体史、発掘調査報告書を中心に、大型本、考古関係専門図書、他機関の紀要等を配架。専用書架には、歴史・考古関係の研究機関の紀要、雑誌類の最新刊を配架。



交流館図書コーナー

IV 普及事業

1 講演会等

(1) 講演会・シンポジウム

外部の有識者に依頼して、企画展示、ミニ展示に係る内容等をテーマとして開催。

[開催状況]

	開催日	タイトル	講師（所属等）	参加者（定員）
1	2022 5/21(土)	一色青海遺跡を考える	深澤芳樹（元奈良文化財研究所副所長）	46人（50人）
2	8/6(土)	朝日遺跡とシカ	山崎 健（奈良文化財研究所環境考古学研究室長）	32人（50人）
3	10/16(日)	日本海を望む弥生の村と人々	濱田竜彦（鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課課長補佐）	44人（50人）
4	11/6(日)	日本海側における東西弥生文化の結節点ー八日市地方遺跡ー	下濱貴子（小松市埋蔵文化財センター所長）	40人（50人）
5	2023 1/22(日)	発掘調査最新成果報告会Ⅰ 三河の遺跡	社本有弥（愛知県埋蔵文化財センター調査研究主事） 鈴木とよ江（西尾市教育委員会文化財課元学芸員）	37人（50人）
6	2/4(土)	弥生土器からみたお米の炊き方	小林正史（北陸学院大学教授）	19人（50人）
7	2/5(日)	尾張と東三河の首長墓 ～断夫山古墳と馬越長火塚古墳群の最新発掘調査成果から見えてくるもの～	広瀬和雄（国立歴史民俗博物館名誉教授） 岩原 剛（豊橋市文化財センター所長） 早野浩二（愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員）	128人（600人） 【会場】 清須市春日公民館
8	2/26(日)	発掘調査最新成果報告会Ⅱ 尾張の遺跡	平松久和（岩倉市教育こども未来部生涯学習課文化財指導員） 島軒 満（株式会社アコード調査部調査技師）	50人（50人）

(2) 体験講座

外部から講師を招き、考古学を楽しむワークショップとして開催。

[開催状況]

	開催日	タイトル	講師 (所属等)	参加者 (定員)
1	2022 7/24(日)	弥生マンガ教室	棚園正一 (漫画家)	9人 (10人)
2	2023 2/11(土)	弥生マンガ教室	棚園正一 (漫画家)	9人 (10人)
3	3/11(土)	弥生の籠を編んでみよう	下濱貴子 (小松市埋蔵文化財センター所長)	8人 (10人)
4	3/26(日)	お菓子作りで楽しむ朝日遺跡	渡辺康子 (御菓子処わたなべ)	10人 (10人)

(3) ヒストリーカフェ

当館学芸員が講師となり、企画展、特別企画展にかかわる解説等を行うミニ講座として開催。

[開催状況]

	開催日	タイトル	担当学芸員	参加者 (定員)
1	2022 6/18(土)	石包丁の使い方	原田 幹	17人 (25人)
2	9/10(土)	シカをめぐるお話	田中恵美	14人 (25人)
3	12/ 3(土)	弥生時代、北陸と東海のイイ関係	原田 幹	19人 (25人)
4	2023 1/28(土)	いまさら聞けない遺跡の話	梅本博志	24人 (25人)



講演会

「発掘調査最新成果報告会Ⅰ 三河の遺跡」
(社本有弥氏、鈴木とよ江氏)



体験講座「お菓子作りで楽しむ朝日遺跡」
(渡辺康子氏)

(4) 子ども考古相談会

当館学芸員が子供からの疑問に答える相談会として開催。

[開催状況]

	開催日	内 容	担当学芸員	参加者 (定員)
1	2022 5/4(水・祝)	卑弥呼は実際にいたのか? ほか	田中恵美	3組 5人 (6組)
2	8/20(土)	玉造りの制作技法は? ほか	田中恵美	8組 16人 (10組)
3	11/19(土)	土器を修復するときの白いものは何か?ほか	梅本博志	10組 18人 (16組)
4	2023 3/ 4(土)	「古代」は、いつからいつまでか? ほか	田中恵美	10組 12人 (30組)

(5) トーク&ツアー

当館学芸員が史跡や展示室に加え、普段は入ることが出来ないバックヤードなどを案内。

[開催状況]

	開催日	内 容	担当学芸員	参加者 (定員)
1	2022 5/4(水・祝)	史跡貝殻山貝塚交流館バックヤードツアー	梅本博志	20人(20人)
2	8/20(土)	壁画で楽しむ弥生マンダラ	梅本博志	20人(30人)
4	11/19(土)	史跡貝殻山貝塚交流館ギャラリー&バックヤードトーク	梅本博志	18人(20人)
5	2023 3/ 4(土)	史跡体感ガイドツアー	梅本博志	29人(30人)



子ども考古相談会



トーク&ツアー
「史跡体感ガイドツアー」

2 文化財活用イベント

(1) 弥生こどもの日

[開催日]2022/ 5/ 4 (水・祝) [来場者 488 人]

- ・弥生衣装フォトスポット
- ・とりのぼり
- ・クイズ朝日遺跡、弥生さかなつりゲーム
- ・火起こし検定
- ・弥生こども劇場(子どもたちと地域の歴史に親しむ会)
- ・体験講座

(カラフル勾玉づくり、土器文様タイルづくり)

- ・キッチンカー

[特別出展]

- ・「人物埴輪をつくろう！ 焼かない粘土で作ります」
(歴史の里マイスターの会)
- ・缶バッジづくり(体感！しだみ古墳群ミュージアム)

[同時開催]

- ・子ども考古相談会
- ・史跡貝殻山貝塚交流館バックヤードツアー
- ・弥生ムラづくりプロジェクト「田起こし体験」



弥生こども劇場



田起こし体験

(2) ナイトミュージアム

[開催日]2022/ 8/20 (土) [来場者 341 人]

- ・竪穴住居・高床倉庫ライトアップ
- ・鳴らせる銅鐸の屋外展示
- ・弥生衣装フォトスポット
- ・クイズラリー、弥生さかなつりゲーム
- ・体験講座(カラフル勾玉づくり)
- ・キッチンカー

[ミニ講座]

- ・壁画で楽しむ弥生マンダラ
- ・クロスロード活動写真
- ・スポット展示ガイド

[特別出展]

- ・勾玉・管玉づくり体験(歴史の里マイスターの会)
- ・缶バッジづくり(体感！しだみ古墳群ミュージアム)
- ・鑄込み体験ーべっこう飴編ー(愛知県埋蔵文化財センター)
- ・野菜直売会(西春日井農業協同組合)

[同時開催]

- ・子ども考古相談会



高床倉庫ライトアップ



ミニ講座
「クロスロード活動写真」

(3) 収穫祭

[開催日]2022/11/19 (土) [来場者 819 人]

- ・弥生衣装フォトスポット
- ・朝日遺跡めぐり、リアル・土器パズル
- ・弥生さかなつりゲーム、火起こし検定
- ・弥生こども劇場(子どもたちと地域の歴史に親しむ会)
- ・体験講座(カラフル勾玉づくり)
- ・キッチンカー

[特別出展]

- ・缶バッジづくり(体感!しだみ古墳群ミュージアム)
- ・木偶作り体験(朝日遺跡応援隊ファイブスターズ)
- ・野菜直売会(西春日井農業協同組合)
- ・にぎわいアイノイチ

[同時開催]

- ・子ども考古相談会
- ・史跡貝殻山貝塚交流館ギャラリー&バックヤードトーク
- ・弥生ムラづくりプロジェクト「脱穀体験」



火起こし検定



脱穀体験

(4) 体験弥生ムラ

[開催日]2023/ 3/ 4 (土) [来場者 427 人]

- ・朝日遺跡探検
- ・弥生さかなつりゲーム、火起こし体験
- ・弥生こども劇場(子どもたちと地域の歴史に親しむ会)
- ・とびだせ! 収蔵庫 収蔵庫に眠る弥生人を限定公開!
- ・学芸員による展示スポットガイド
- ・体験講座(カラフル勾玉づくり、ミニ磨製石器づくり)
- ・物販ブース、キッチンカー

[特別出展]

- ・勾玉ネックレス・管玉ストラップをつくろう
(歴史の里マイスターの会)
- ・缶バッジづくり(体感!しだみ古墳群ミュージアム)
- ・土器の破片に触れる体験(名古屋市見晴台考古資料館)
- ・あまガチャ、カルチャーツーリズム ama
(あま市観光協会×Lo+cale LAB ama)
- ・とれたて朝市(西春日井農業協同組合)
- ・にぎわいアイノイチ、biima sports 体験会

[同時開催]

- ・子ども考古相談会
- ・史跡体感ガイドツアー
- ・弥生ムラづくりプロジェクト「土器どき! 弥生ごはん」



展示スポットガイド



土器どき! 弥生ごはん
(土器炊飯)

3 古代体験プログラム

火起こしや土器づくり等、古代をイメージした各種の体験を実施。

[毎日実施] 舞錐法による火起こし

[土・日・祝日実施] カラフル勾玉づくりのほか、ミニ土器づくり等の月替りメニュー

[古代体験プログラム実施状況]

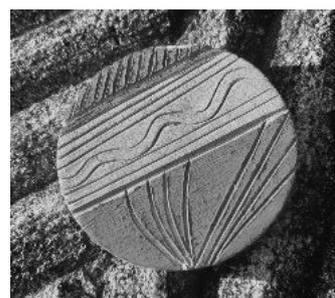
年/月	メニューと参加者数			参加者計(人)
	火起こし	カラフル勾玉	月替りメニュー (10種類)	
2022/4	48	79	おうちで焼ける!土器づくり	31
5	71	144	土器模様タイルを作ろう	59
6	50	82	土玉・勾玉型土製品を作ろう	22
7	53	95	高坏を作ろう	50
8	113	131	シカ角アクセサリーをつくろう	45
9	54	79	おうちで焼ける!土器づくり	28
10	68	88	ミニ磨製石器づくり	82
11	41	95	弥生土偶をつくろう	24
12	17	33	おうちで焼ける!土器づくり	4
2023/1	53	54	アングイン編み体験	29
2	55	70	土人形づくり	38
3	53	81	金ピカ馬具を作ってみよう	41
計	676	1,031		453



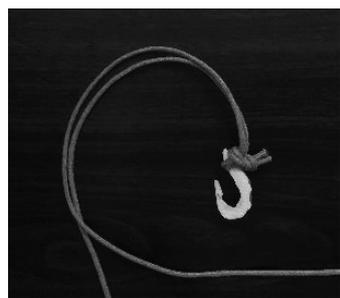
カラフル勾玉づくり



土器づくり



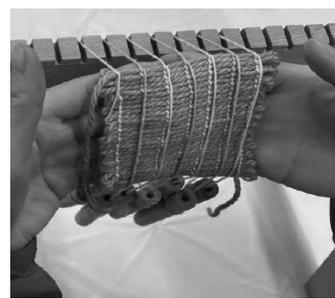
土器模様タイルづくり



シカ角アクセサリーづくり



弥生土偶



アングイン編み

4 ボランティアの養成と活動

ミュージアムが企画する様々な普及活動のサポートを行うボランティアとして、「おもてなしムラ人」の制度を立ち上げ、研修等を実施した。

ムラ人は「ガイドコース」と「体験コース」に分かれて(重複登録可)、ボランティア活動を行っており、年度末での登録は18人となっている。なお、2022年度は新規募集を行っていない。

(1) ガイドムラ人(登録10人)

2021年度から意見交換のため、「寄合」を行うとともに、「ガイドマニュアル」を用いた実践研修を経て、土日祝日等には、「キッズ考古ラボ」での解説、見守り活動を行った。

(2) 体験ムラ人(登録11人)

体験水田での米づくりなど、「弥生体験ムラ」の運営を担うとともに、弥生体験ムラのイベントでは、「火起こし検定」等を行った。

[年間活動状況]

年/月	ガイドコース	体験コース
2022/4	16(土) 寄合・実践研修	
5	22(日) 寄合・実践研修	4(水・祝) 田起こし 19(木) 田起こし 20(金) 田起こし
6	18(土) 寄合・実践研修	4(土) 田植え
7	17(日) 寄合・実践研修	23(土) 環境整備(除草) 30(土) いきもの観察会
8		20(土) 環境整備(除草)
9		3(土) 環境整備(除草) 17(土) 環境整備(除草)、石包丁づくり
10		22(土) 収穫 30(日) 稲刈り
11		12(土) 脱穀準備・練習、土器粘土の準備 19(土) 脱穀
12	24(土) 寄合・実践研修	17(土) 土器作り
2023/1	28(土) 寄合・実践研修	21(土) 土器焼成、粃摺り
2	25(土) 寄合・実践研修	4(土) 土器炊飯
3	25(土) 大寄合	



ガイドの様子(ガイドムラ人)



水田の環境整備(体験ムラ人)

5 弥生ムラづくりプロジェクト

体験ムラ人の協力を得て、体験水田での米づくりをはじめとする、弥生ムラづくりプロジェクトを行い、のべ239人の一般参加者があった。

[弥生ムラづくりプロジェクト実施状況]

年/月	内容	参加者等	参考
2022/4	(下旬) 播種、育苗	スタッフ	
5	4(水・祝) 田起こし体験 19(木) 田起こし 20(金) 田起こし	一般 16人 体験ムラ人	「弥生こどもの日」イベントとして実施
6	4(土) 田植え	体験ムラ人 一般 15人	
7	23(土) 田んぼの手入れ(除草) 30(土) いきもの観察会	体験ムラ人 一般 6人	講師 寺本匡寛氏(熱田神宮宮繕部林苑課)
8	20(土) 田んぼの手入れ(除草)	体験ムラ人	
9	3(土) 田んぼの手入れ(除草) 17(土) 石包丁づくり	体験ムラ人 一般 9人	
10	22(土) 石包丁で収穫 30(日) 収穫	一般 19人 体験ムラ人	
11	19(土) 脱穀体験	体験ムラ人 一般 153人	「収穫祭」体験プログラムとして実施
12	17(土) 大人のための土器づくり (土器をつくる)	体験ムラ人 一般 9人	
2023/1	21(土) 大人のための土器づくり (土器を焼く) 21(土) 糲摺り	体験ムラ人 一般 9人 体験ムラ人	
2	4(土) 土器炊飯	体験ムラ人 一般 13人	



田植え



田起こし



脱穀体験



石包丁で収穫



大人のための土器づくり

6 学校教育との連携

(1) 校外学習等による来館

小・中・高等学校等あわせて26校、1,949人の利用があった。

[校外学習による来館実績(人数は引率教員を含む)]

年/月	学校名	学年	利用者数				全体	
			小学校	中学校	高校	その他	学校数	人数
2022 /4	清洲小学校(清須市)	6	181				2	277
	萩原小学校(一宮市)	6	96					
5	三宅小学校(稲沢市)	5	23				2	101
	学戸小学校(蟹江町)	6	78					
6	西枇杷島小学校(清須市)	6	83				5	395
	桜小学校(弥富市)	6	98					
	古城小学校(清須市)	6	66					
	美和東小学校(あま市)	6	52					
	新川小学校(清須市)	6	96					
7	桃栄小学校(清須市)	6	46				4	246
	春日小学校(清須市)	6	83					
	稲生小学校(西区)	6	111					
	岡崎高等学校(岡崎市)	2		6				
9	正則小学校(あま市)	6	50				1	50
10	星の宮小学校(清須市)	6	56				2	94
	ゆめのもりこどもえん(清須市)	年長				38		
11	はなのもりこどもえん(清須市)	年長				11	6	354
	朝日保育園(清須市)	年長				69		
	清洲東小学校(清須市)	2	60					
	浮野小学校(西区)	全	163					
	かつやま子どもの村小学校(福井県勝山市)	全	19					
秋竹小学校(あま市)	6	32						
12	加木屋中学校 ほか(ほっと東海)(東海市)※	小3~中3				31	3	358
	新川高等学校(清須市)	1		265				
	音貝小学校(東郷町)	3	62					
2023 /1	白木小学校(北名古屋市)	6	74				1	74
計			1,529	0	271	149	26	1,949

※東海市内の小中学校の特別支援学級の合同行事による来館。

(2) 学校博物館

ミュージアムのスタッフと学芸員が学校を訪れて出前授業を実施した。

[学校博物館実施状況]

実施日	学校名(所在地)	学年	人数	内容
6/ 1(水)	清洲東小学校(清須市)	6	65	展示解説&火起こし
6/21(火)	大野木小学校(西区)	6	98	展示解説&火起こし
7/ 5(火)	板山小学校(半田市)	6	58	展示解説&火起こし
7/12(火)	岩倉南小学校(岩倉市)	6	87	展示解説&火起こし
9/ 6(火)	東栄小学校(東栄町)	6	21	展示解説&火起こし
9/13(火)	広幡小学校(岡崎市)	6	121	展示解説&火起こし
10/ 4(火)	高台寺小学校(津島市)	6	44	展示解説のみ
11/29(火)	東郷東小学校(新城市)	6	27	展示解説&火起こし
12/22(木)	草木小学校(阿久比町)	6	45	展示解説&火起こし
計	9校	—	566	

7 関連施設等との連携

(1) 清須市・清洲城等との連携事業

[清須市・清洲城等との連携事業実施状況]

開催日等	内 容	開催場所等
2022 7/23(土)～ 9/19(月・祝)	清須市立図書館にて朝日遺跡ミュージアムコーナー設置	清須市立図書館
9/ 1(木)～ 10/ 9(日)	清洲城スタンプラリー	当館
10/ 9(日)	清洲城信長まつりと連携イベント(ムラ人による拓本缶バッジづくり)等実施	当館
10/16(日)	清洲城ボランティアとの交流会を実施	当館
10/29(土)	サタデーキッズ「朝日遺跡探検隊」(生涯学習課)開催	当館
11/12(土)	清須ウオーク	当館 他
2023 2/22(水)	清須市シルバー人材センター(清洲城券売窓口担当)との意見交流会	当館
3/25(土)	清須ウオーク、清須プロギング	当館、清洲城 他
年 間	清須市観光・産業活性化プロジェクト会議 観光部会への参加 (7/15、8/24)	清須市役所

(2) 名古屋市・体感!しだみ古墳群ミュージアム(しだみゅー)との連携事業

[名古屋市・しだみゅーとの連携事業実施状況]

開催日等	内 容	開催場所等
2022 5/ 4(水・祝)	朝日「弥生こどもの日」に体感!しだみ古墳群ミュージアム(名古屋市文化財保護室)ブース出展、歴史の里マイスターの会(ボランティア)ブース出展	当館
5/ 5(木・祝)	しだみゅー「春まつり」に本館ブース出展、施設PR	しだみゅー
8/20(土)	朝日「ナイトミュージアム」に体感!しだみ古墳群ミュージアム(名古屋市文化財保護室)ブース出展、歴史の里マイスターの会(ボランティア)ブース出展	当館
10/23(日)・ 11/13(日)	体感!しだみ古墳群ミュージアム連携企画「稲作の歴史とおコメを美味しく食べる」	当館、しだみゅー
11/ 6(日)	しだみゅー「秋まつり」に本館ブース出展、施設PR	しだみゅー
11/19(土)	朝日「収穫祭」に体感!しだみ古墳群ミュージアム(名古屋市文化財保護室)ブース出展、歴史の里マイスターの会(ボランティア)ブース出展	当館
2023 1/ 6(金)	西区役所講座「まがたまづくり体験講座」開催	名古屋市西区役所
3/ 4(土)	朝日「体験!弥生ムラ」に体感!しだみ古墳群ミュージアム(名古屋市文化財保護室)ブース出展、歴史の里マイスターの会(ボランティア)ブース出展、名古屋市見晴台考古資料館ブース出展	当館
年 間	志段味古墳群・朝日遺跡推進協議会への参加 (6/16、9/14)	当館、しだみゅー

(3) 愛知県名古屋市近郊の古代の史跡・博物館をめぐるスタンプラリー

[期間] 2023/2/18(土)～3/19(日)

[参加施設] あいち朝日遺跡ミュージアム、体感!しだみ古墳群ミュージアム、名古屋市博物館、名古屋市見晴台考古資料館、史跡・断夫山古墳(熱田神宮公園管理事務所)

V 保存・活用事業

1 資料の保存管理・提供等

(1) 収蔵品データベースの作成

朝日遺跡出土品のデータについて、陶磁美術館・県美術館と同様の「クラウド型」の収蔵品管理システムを導入した。

(2) 朝日遺跡出土品保存修理事業（国庫補助事業）

重要文化財朝日遺跡出土品の適切な保管・公開に資するため、土器・土製品のうち、壺形土器6点について保存修理を行った。

保存修理の工程 壺形土器 178 (178)



①修理前
接合部や古い石膏が劣化し、土器が壊れやすくなっていました。

②解体
土器の接着剤を除去し、破片の状態に戻します。

③接合・樹脂充填
再度破片を接合し、欠損部を樹脂で補います。

④修理完了
樹脂で補った部分を彩色し目立たなくし、完成です。

(3) 保管資料等の貸与

博物館等の依頼により、保管資料等を貸し出した。

[保管資料等の貸与実績]

No.	資料名	点数	借用者	期間	利用目的(展覧会等)
1	朝日遺跡出土人骨	1	南山大学人類学研究所 中川朋美	2022/3/26 ~7/24	学術調査

(4) 掲載許可

博物館等の依頼により、写真類の出版物等への掲載を許可した。

[掲載許可実績]

No.	資料名	点数	借用者	許可日	利用目的(掲載図書等)
1	遠賀川式土器	1	毎日新聞 学芸部	2022/ 4/ 5	新聞記事制作
2	円窓付土器	7	個人	2022/ 4/14	小学校社会歴史授業の教材
3	ジオラマ(収穫)	1	株式会社スタッフラビ	2022/ 5/12	NHK番組制作
4	パレススタイル土器	1	岩手県立博物館	2022/ 5/13	企画展「赤色に宿るチカラ」展示パネル等
5	施設外観、展示室、収蔵品ほか	12	有限会社エヌツー	2022/ 7/11	JTB パブリッシング『愛知の教科書』
6	多重防御施設	1	学校法人河合塾教育企画開発部	2022/ 7/11	大学受験用模擬試験問題、高等学校教員用学習指導用資料
7	朝日遺跡展示模型(弥生時代の戦い「弓矢」)	1	株式会社悠工房	2022/ 7/11	映像授業用資料
8	復元竪穴住居ほか	1	個人	2022/ 8/ 5	愛知県行政書士会報
9	銅鐸、ジオラマ	2	中日新聞社教育報道部	2022/ 8/23	『中日こどもウィークリー』
10	発掘調査写真	3	株式会社ミネルバ	2022/ 9/20	東海テレビ 宝くじ特番
11	逆茂木と乱杭の俯瞰写真	1	個人	2022/10/ 1	月刊『考古学ジャーナル』「愛知県の考古学史」
12	多重防御施設模型	2	株式会社アフロ	2022/10/20	中学校用副教材
13	多重防御施設イラスト	1	柏市教育委員会	2023/ 1/ 6	『柏市史(沼南町史 通史編)』
14	朝日遺跡発掘調査写真	5	東海テレビ放送株式会社報道局生活情報部	2023/ 1/25	東海テレビ制作番組「スイッチ！」
15	遺跡発掘中の写真	2	株式会社グレイル	2023/ 2/ 2	中公ムック 歴史と人物 14『目からウロコ 日本古代の新常識!』
16	木製農具・工具、骨鏃・角鏃	2	株式会社新泉社	2023/ 2/ 7	シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊6『ビジュアル版 弥生時代ガイドブック』
17	赤彩土器	1	株式会社新泉社	2023/ 2/21	シリーズ「歴史を学ぶ」162『若杉山辰砂採掘遺跡』
18	施設画像ほか	6	株式会社カピケウラ	2023/ 3/13	ガイドブック『地球の歩き方 愛知』
19	ヤナの推定復元イラスト	1	津山市	2023/ 3/29	新修津山市史 通史編「自然風土・原始・古代」

2 刊行物

(1) 朝日遺跡だより (VOL.5～8)

あいち朝日遺跡ミュージアムを紹介する季刊の広報誌として、企画展、特別企画展の振り返りレポート、ミュージアム収蔵品レポート、イベント案内等を掲載。

A4判 8頁 年4回発行

(2) あいち朝日遺跡ミュージアム研究紀要 (第2号)

朝日遺跡及び出土品に関する研究、ミュージアムの教育普及に関する研究などを掲載。

A4判 70頁 年1回発行

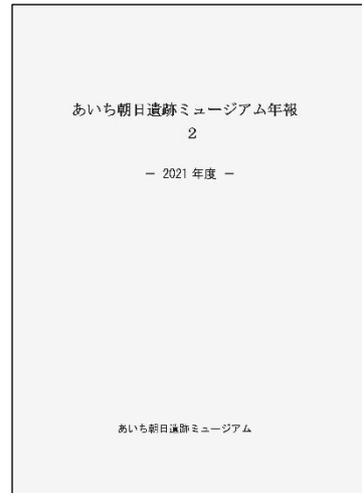
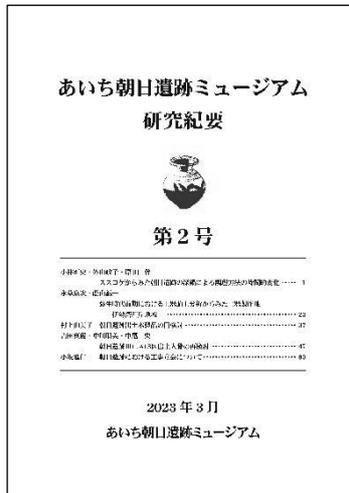
[掲載論文等一覧]

執筆者	タイトル
小林正史・外山政子・原田幹	ススコゲからみた朝日遺跡の深鍋による調理方法の時間的変化
永草康次・蔭山誠一	弥生時代前期における土器胎土分析からみた土器製作地—伊勢湾西岸地域—
村上由美子	朝日遺跡出土木製品の再検討
吉田真優・中川朋美・中尾央	朝日遺跡Ⅲ11A13 区出土人骨の再検討
小坂延仁	朝日遺跡における工事立会について

(3) あいち朝日遺跡ミュージアム年報 (2021年度)

あいち朝日遺跡ミュージアムの施設、事業等の実績報告。

A4判 28頁 年1回発行

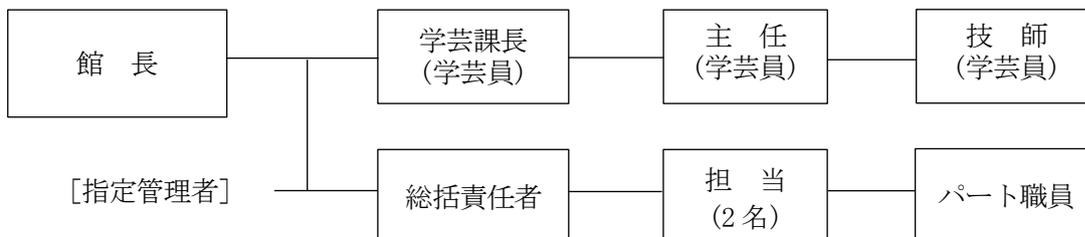


Ⅶ 参考資料

1 組織と体制

あいち朝日遺跡ミュージアムの運営については、県職員(学芸員)が朝日遺跡等に係る専門的知見を必要とする業務を担当し、それ以外については、指定管理者が行うこととしている。

なお、職員配置は県が館長(県埋蔵文化財調査センター所長を兼務)を含め4名、指定管理者は総括責任者を含め3名となっている。



2 県と指定管理者との役割分担

県と指定管理者との役割分担は、「あいち朝日遺跡ミュージアム指定管理者業務仕様書」により以下のように定めている。

業務区分		概要	運営主体		備考	
			県	指定管理者		
博物館経営		事業運営計画の策定、進行管理	◎	○	企画運営会議で協議	
事業の実施事業	学芸業務	資料収集 整理保存	◎			
		調査研究	◎			
		展示	常設			
			企画			
		関連業務の実施・キッズ考古ラボの運営	○	◎		
	普及啓発	体験学習室の運営	○	◎		
		講座の開催／広報誌の発行・HP等の運営／講演会の開催／ボランティア等との協働事業	○	◎		
		学習相談、取材対応、学校等との協議 出前講座の実施	○	◎	指定管理者は広報、出前講座の補助	
	図書・情報コーナーの運営				◎	本館廊下、別館ガイダンス室
	来館者サービス		総合案内／常設・企画展示の改札・監視 その他来館者への援助		◎	
その他		企画運営会議の運営	◎	○		
		施設の円滑な運営のために必要な業務		◎		
自主企画		誘客企画(イベント等)の実施		◎		
施設等の利用	利用	観覧料の收受		◎		
	利用促進	広報宣伝、誘致活動	○	◎		
施設の維持管理	保守管理	事業運営計画の策定、進行管理			企画運営会議で協議	
	備品管理 清掃・警備等	備品管理業務 清掃・警備等業務		◎		
管理運営	管理運営	指定管理者の業務に係る管理運営		◎		
物品販売	ショップ	朝日遺跡関連グッズ		(◎)	目的外利用による	

別 記

■常設展示業務分担表

業務区分	概要	運営主体		備考(県):県 指]指定管理者)
		県	指定管理者	
展示関連業務 (事前)	資料展示	◎		
	展示物制作	◎	○	指]自ら提案のときは負担
展示制作	展示工事	◎		
	展示パネル	◎	○	県]解説原稿執筆 指]制作、設置
印刷物	展示ガイド	◎	○	県]原稿執筆 指]デザイン、印刷
	ガイドブック	◎	○	県]原稿執筆 指]デザイン、印刷
開催関連業務	展示ガイド・監視		◎	
	展示ガイド研修	◎		

■企画展示業務分担表

業務区分	概要	運営主体		備考(県):県 指]指定管理者)
		県	指定管理者	
展示関連業務 (事前)	資料収集	◎		県]資料の整理・保管及び調査研究
	展示企画	◎	○	館長が主催する企画運営会議により決定 県]展示内容の提案 指定管理者からの提案も可能 指]広報、必要経費、観覧料、展示ディスプレイ、サービス等の提案
	展示物制作	◎		
	展示資料借用	◎		
展示制作	展示工事	◎		
	展示パネル	◎	○	県]解説原稿執筆 指]制作、設置
印刷物	ポスター・チラシ等	○	◎	県]監修 指]デザイン、印刷
	展示ガイド	○	◎	県]原稿執筆 指]デザイン、印刷
広 報	ポスター・チラシ送付		◎	
	広告		◎	
開催関連業務	展示ガイド・監視		◎	
	展示ガイド研修	◎		
	関連イベント	○	◎	県]学術的な内容が含まれる場合は監修 指]企画運営

※「運営主体」の「◎」は主に業務を行う者、「○」は従に業務を行う者

3 運営協議会

(1) 設置の目的

あいち朝日遺跡ミュージアムの運営について、広く専門的見地から意見集約し、開かれた魅力的な施設運営に資することを目的として設置。

(2) 委員（五十音順・◎会長 ○副会長）

- 浅野 英樹（清須市教育部生涯学習課長）
- 梶浦 庄治（清須市市民環境部産業課長）
- 加藤 久（名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室長）
- 河村 弘子（HAPPY SMILE 代表）
- 菊池 学（愛知県民文化局文化部文化芸術課文化財室長）
- ◎黒澤 浩（南山大学人文学部人類文化学科教授）
- 柴田 和明（清須市小中学校校長会会長）
- 嶋田 有香（名古屋市西区区政部地域力推進室長）
- 鈴木 正貴（公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター調査課長）
- 田中 雄司（名古屋市西区小中学校校長会会長）
- 堀田 忠彦（清須市商工会会長）
- 村上 由美子（京都大学総合博物館准教授）

(3) 検討内容

- ア あいち朝日遺跡ミュージアムの運営に関する事項
- イ あいち朝日遺跡ミュージアムの事業活動に関する事項
- ウ あいち朝日遺跡ミュージアムと周辺地域との連携に関する事項
- エ その他必要と認められる事項

(4) 開催実績

- 第1回 2022(令和4)年8月 8日(月) 午後2時から4時まで
- 第2回 2023(令和5)年2月20日(月) 午前10時から正午まで

4 史跡貝殻山貝塚の維持・管理

史跡指定地内の施設、植栽等について適正な維持措置を行うとともに、史跡活用のためのイベント等については、文化財保護法第125条に基づき「現状変更」（清須市教育委員会許可）の手続きを行った。

[史跡貝殻山貝塚に係る現状変更一覧表]

許可年月日	管理等の内容
2022/ 4/25	「弥生こどもの日」に伴う工作物(テーブル等)の設置(5月4日開催)
8/ 2	「ナイトミュージアム」に伴う工作物(テーブル等)の設置(8月20日開催)
9/29	「信長まつり」に伴う史跡指定地内へのキッチンカーの乗り入れ(10月9日開催)
10/27	「収穫祭」に伴う工作物(テーブル等)の設置(11月19日開催)
2023/ 2/21	「体験! 弥生ムラ」に伴う工作物(テーブル等)の設置(3月4日開催)

5 入館者数

2022(令和4)年度は、年間で307日開館し、本館に39,137人、史跡貝殻山貝塚交流館に14,648人、合わせて53,785人の入館者があった。

[2022(令和4)年度入館者数]

月	開館 日数	本館				史跡貝殻山貝塚交流館				計 (日平均)	内訳		
		一 般	高 校 大学生	中 学 生 以 下	計 (日平均)	一 般	高 校 大学生	中 学 生 以 下	計 (日平均)		一般	高 校 大学生	中 学 生 以 下
2022 /4	26	2,347	19	888	3,254 125	964	17	527	1,508 58	4,762 183	3,311 127	36 1	1,415 54
5	26	3,305	40	1,215	4,560 175	1,268	12	552	1,832 70	6,392 245	4,573 176	52 2	1,767 68
6	26	2,229	31	1,094	3,354 129	804	8	582	1,394 54	4,748 183	3,033 117	39 2	1,676 64
7	27	1,511	58	1,041	2,610 97	532	18	485	1,035 38	3,645 135	2,043 76	76 3	1,526 57
8	26	2,472	89	1,436	3,997 154	890	93	492	1,475 57	5,472 211	3,362 129	182 7	1,928 74
9	26	2,030	131	594	2,755 106	655	43	237	935 36	3,690 142	2,685 103	174 7	831 32
10	26	2,931	31	968	3,930 151	953	12	411	1,376 53	5,306 204	3,884 149	43 2	1,379 53
11	26	2,931	49	1,072	4,052 156	903	6	324	1,233 47	5,285 203	3,834 147	55 2	1,396 54
12	23	1,387	301	427	2,115 92	488	75	154	717 31	2,832 123	1,875 82	376 16	581 25
2023 /1	24	1,566	55	568	2,189 91	590	6	298	894 37	3,083 128	2,156 90	61 3	866 36
2	24	2,039	19	436	2,494 104	783	5	208	996 41	3,490 145	2,822 118	24 1	644 27
3	27	2,606	61	1,160	3,827 142	907	15	331	1,253 46	5,080 188	3,513 130	76 3	1,491 55
計	307	27,354	884	10,899	39,137	9,737	310	4,601	14,648	53,785	37,091	1,194	15,500
平均	日	89	3	36	127	32	1	15	48	175	121	4	50
	月	2,280	74	908	3,261	811	26	383	1,221	4,482	3,091	100	1,292
2021 年度 平均	307	28,346	523	12,488	41,357	10,180	276	5,282	15,738	57,095	38,526	799	17,770
	日	92	2	41	135	33	1	17	51	186	125	3	58
平均	月	2,362	44	1,041	3,446	848	23	440	1,312	4,758	211	67	1,481

※各項目の平均人数は、端数処理により、合計と一致しない場合がある。

付録 関連条例・規則等

○愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例(抄)

昭和四十六年三月二十四日 条例第六号

題名改正〔平成三一年条例三号〕

最終改正 令和 二年一二月一八日条例第六二号

(設置)

第一条 スポーツの振興及び県民の文化的教養の向上を図るため、スポーツ施設及び社会教育施設（以下「施設」という。）を設置する。

一部改正〔平成一〇年条例二八号・三一年三号・令和元年四一号〕

(名称、位置等)

第二条 施設の名称及び位置並びに施設における業務は、別表第一のとおりとする。

(職員)

第三条 あいち朝日遺跡ミュージアムに、館長その他の職員を置く。

全部改正〔令和元年条例四一号〕

(観覧料)

第五条の二 あいち朝日遺跡ミュージアムの展示室において展示物を観覧しようとする者は、別表第三に定める額の観覧料を納付しなければならない。ただし、次に掲げる者は、この限りでない。

- 一 小学校就学前の者
- 二 常設展示を観覧しようとする中学生及び小学生
- 三 学校行事として常設展示を観覧しようとする高校生
- 四 幼稚園、幼保連携型認定こども園又は保育所の行事として常設展示を観覧しようとする小学校就学前の者の引率者
- 五 学校行事として常設展示を観覧しようとする高校生、中学生又は小学生の引率者
- 六 身体障害者福祉法（昭和二十四年法律第二百八十三号）第十五条第四項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者で常設展示を観覧しようとするもの
- 七 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和二十五年法律第二百二十三号）第四十五条第二項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者で常設展示を観覧しようとするもの
- 八 厚生労働大臣が定めるところにより療育手帳の交付を受けている知的障害者で常設展示を観覧しようとするもの
- 九 次に掲げる者に付き添って常設展示を観覧しようとする者。ただし、次に掲げる者一人につき二人以上の者が付き添うときは、そのうち一人に限る。
 - イ 第六号に掲げる者のうち身体障害者手帳に第一種身体障害者と記載されているもの
 - ロ 第七号に掲げる者のうち精神障害者保健福祉手帳に障害等級が一級と記載されているもの
 - ハ 前号に掲げる者のうち療育手帳に第一種知的障害者と記載されているもの
- 2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、観覧料を展示物の観覧後の知事が指定する日までに納付させることができる。
- 3 納付された観覧料は、特別の理由がある場合を除き、還付しない。
- 4 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

追加〔令和元年条例四一号〕

(利用料金)

第六条 知事は、第九条の規定により知事等が指定する法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に、第四条第一項の施設の利用及び前条第一項の展示物の観覧に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として收受させることができる。

2 前項の場合においては、次に掲げる者は、当該利用料金を指定管理者に納付しなければならない。この場合においては、第五条第一項又は前条第一項の規定は、適用しない。

一 第四条第一項の許可を受けた者（第五条第一項各号に掲げる場合におけるものを除く。）

二 前条第一項の展示物の観覧をする者（同項各号に掲げる者を除く。）

3 利用料金の額は、別表第二に定める使用料の額に相当する額又は別表第三に定める観覧料の額に相当する額に〇・七を乗じて得た額から当該使用料の額に相当する額又は当該観覧料の額に相当する額に一・三を乗じて得た額までの範囲内において指定管理者が定める額とする。ただし、第五条第二項各号に掲げる場合は、その額に実費を勘案して指定管理者が定める額を加算した額とする。

4 指定管理者は、前項の規定により利用料金の額を定めようとするときは、知事の承認を受けなければならない。その額を変更しようとするときも、同様とする。

5 知事は、前項の承認をしたときは、その旨及び当該利用料金の額を公告しなければならない。

6 第五条第四項及び第五項の規定は第四条第一項の施設の利用に係る利用料金について、前条第三項及び第四項の規定は同条第一項の展示物の観覧に係る利用料金について準用する。この場合において、第五条第五項及び前条第四項中「知事」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

全部改正〔平成一五年条例七四号〕、一部改正〔平成一七年条例七八号・三一年三号・令和元年四一号〕

(利用者の義務)

第七条 利用者は、施設の利用に際しては、この条例及びこの条例に基づく規則（愛知県野外教育センター、愛知県青年の家、愛知県美浜自然の家及び愛知県旭高原自然の家にあつては、教育委員会規則。以下「規則等」という。）の規定並びに第四条第二項の規定により許可に付けられた条件及び知事等又は館長の指示に従うとともに、施設の秩序を乱すような行為をしてはならない。

一部改正〔昭和五七年条例一六号・平成五年三九号・六年一九号・一七年七八号・三一年三号・令和元年四一号・二年六二号〕

(許可の取消し及び利用の中止命令)

第八条 知事等は、利用者が前条の規定に違反したときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずることができる。

2 知事等は、公共の福祉のためやむを得ない理由があるときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずることができる。

一部改正〔昭和五七年条例一六号・平成五年三九号・六年一九号・一七年七八号・三一年三

号〕

(指定管理者による管理)

第九条 知事等は、法人その他の団体であつて知事等が指定するものに、施設の管理に関する業務のうち、次に掲げる業務を行わせることができる。

一 第四条第一項の規定により施設の利用を許可すること。

二 第四条第二項の規定により同条第一項の許可に条件を付けること。

三 第五条第四項第二号（第六条第六項において準用する場合を含む。）の規定により利用の中止を承認すること。

四 第七条の規定により施設の利用に係る指示をすること。

五 前条第一項の規定により第四条第一項の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること。

六 その他施設を維持管理し、及び運営すること。

全部改正〔平成一七年条例七八号〕、一部改正〔平成三一年条例三号〕

（規則等への委任）

第十条 この条例に定めるもののほか、施設の利用条件その他施設の管理に関し必要な事項は、規則等で定める。

一部改正〔平成五年条例三九号・三一年三号〕

（過料）

第十一条 詐欺その他不正の行為により、第五条の規定による使用料又は第五条の二の規定による観覧料の徴収を免れた者に対しては、その徴収を免れた金額の五倍に相当する金額（当該五倍に相当する金額が五万円を超えないときは、五万円とする。）以下の過料を科する。

2 前項に定めるものを除くほか、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、一万円以下の過料を科する。

一 第四条第二項の規定により許可に付けられた条件に違反して施設を利用した者

二 第八条の規定による許可の取消し又は利用の中止命令に違反して施設を利用した者

三 その他不正の方法により許可を受けて施設を利用した者

3 第七条の規定に違反して施設の秩序を乱した者に対しては、五千円以下の過料を科する。

一部改正〔平成五年条例三九号・一〇年二八号・一二年二号・一五年七四号・一七年七八号・令和元年四一号〕

附 則（令和二年三月二十七日条例第四号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和二年四月一日から施行する。

（愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例の一部を改正する条例の一部改正に伴う経過措置）

12 この条例の施行の際現に教育委員会が前項の規定による改正前の愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例の一部を改正する条例附則第二項の規定によりあいち朝日遺跡ミュージアムの管理を行わせる団体として指定している団体は、知事が前項の規定による改正後の愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例の一部を改正する条例附則第二項の規定によりあいち朝日遺跡ミュージアムの管理を行わせる団体として指定した団体とみなす。

別表第一（第二条関係・一部略）

名称	位置	業務
あいち朝日遺跡ミュージアム	清須市	考古資料の収集、保管、展示及び調査研究を行うこと。

別表第三（第五条の二、第六条関係）

区分		単位	観覧料の額 (単位円)
常設展示	個人	大学生又は高校生	一人一回につき 二〇〇
			一人一年につき 六〇〇
		その他の者	一人一回につき 三〇〇
			一人一年につき 一、〇〇〇
	団体（二十人以上）	大学生又は高校生	一人一回につき 一六〇
		その他の者	一人一回につき 二四〇
博物館その他の施設で 知事が定めるものをあ いち朝日遺跡ミュージ アムと併せて観覧する 方法として知事が定め る方法により観覧する 場合	大学生又は高校生	一人一回につき	一六〇円以内で知 事が定める額
	その他の者	一人一回につき	二四〇円以内で知 事が定める額
企画展示		一人一回につき	一、〇〇〇円以内 でその都度知事が 定める額

追加〔令和元年条例四一号〕

〇あいち朝日遺跡ミュージアム管理規則

令和二年三月二十七日 規則第二十九号

改正 令和二年一〇月一四日 規則第六七号

(趣旨)

第一条 この規則は、あいち朝日遺跡ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理に関する事項を定めるものとする。

(休館日)

第二条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

- 一 十二月二十八日から翌年一月三日まで
- 二 月曜日（当該月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日）
- 2 館長は、必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。
- 3 愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例（昭和四十六年愛知県条例第六号。以下「条例」という。）第九条の規定により知事が指定する法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）は、必要があると認めるときは、館長の承認を受けて、臨時に第一項の休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用時間等)

第三条 ミュージアムの利用時間は、午前九時三十分から午後五時までとする。

2 館長は、必要があると認めるときは、臨時に前項の利用時間を変更することができる。

3 指定管理者は、必要があると認めるときは、館長の承認を受けて、臨時に第一項の利用時間を変更することができる。

(立入りの禁止等)

第四条 館長は、めいてい者その他ミュージアムの秩序を乱し、若しくは乱すおそれのある者又はミュージアムの施設に損害を加え、若しくは加えるおそれのある者に対し、ミュージアムへの立入りを禁じ、又は立退きを命ずることができる。

2 館長は、必要があると認めるときは、入館者の数及び資格を制限することができる。

(観覧券の交付)

第五条 ミュージアムの展示室において展示物を観覧しようとする者(条例第五条の二第一項各号に掲げる者及び同条第四項(条例第六条第六項において準用する場合を含む。)の規定により観覧料(条例第六条第一項に規定する条例第五条の二第一項の展示物の観覧に係る料金を含む。以下同じ。)の全部を免除された者並びに観覧料を展示物の観覧後に納付させる者を除く。)は、観覧料の納付と引換えに観覧券(様式第一)の交付を受けるものとする。

2 団体に観覧券の交付を受けようとするときは、その団体の代表者は、あらかじめ団体観覧券交付申込書(様式第二)を館長(指定管理者がある場合にあつては、指定管理者。次条及び第七条において同じ。)に提出しなければならない。

(学校等行事の観覧)

第六条 高等学校、中学校若しくは小学校の学校行事又は幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所の行事として、ミュージアムの展示室において常設展示を観覧しようとする者は、あらかじめ学校等行事観覧届(様式第三)を館長に提出しなければならない。

(館長の指示)

第七条 館長は、ミュージアムの秩序の維持及びミュージアムの管理上必要があると認めるときは、ミュージアムの利用者に対し、ミュージアムの利用に関し適切な指示をすることができる。

(利用料金の承認に係る公告の方法)

第八条 条例第六条第五項の規定による公告は、ミュージアムの掲示場に掲示する方法により行うものとする。

(損害賠償)

第九条 ミュージアムの利用者は、故意又は過失によってミュージアムの施設、附属設備及び展示物等を損傷し、滅失し、又は亡失したときは、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(雑則)

第十条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、館長が定める。

2 指定管理者は、前項の規定により館長が定めるもののほか、館長の承認を受けて、ミュージアムの管理に関し必要な事項を定めることができる。

附 則

この規則は、令和二年十一月二十二日から施行する。

附 則 (令和二年十月十四日規則第六十七号)

この規則は、令和二年十一月二十二日から施行する。

(様式略)

あいち朝日遺跡ミュージアム年報 3

—2022 年度—

発行日／2023(令和5)年7月31日

編集・発行／あいち朝日遺跡ミュージアム

〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地

TEL 052-409-1467



